

「～石をつくろう～」

令和5年12月 日 第 校時

中学校1年 組 名

指導者

1 題材設定の理由

毎年、第一学年ではクロッキーとデッサンを学習することで、対象をよく観察して描く楽しさを経験することから始めている。その後、「ワンダーBird」の色面構成では、実在するBirdのシルエットから形を選び、生徒自身が考えたBirdの性格や特徴から、どんなところが不思議だったり美しかったりするのかが、ワンダーとなる主題を決定した。次に、形や色が美しいグラデーションになるように配色計画を立て、色彩の効果や彩色技法の学習を進めていった。学習を通して、本校の生徒は美術科の学習に対してこつこつと取り組む真面目さをもっているが、やや自尊感情が低く、自分に自信をもてない生徒もいる。また、美術への苦手意識をもつ生徒も多く、制作において、よりよい形を求めて追究しようとする姿勢が見られない。そこで、イメージしやすい身近な自然物をさまざまな感覚を通して捉え、可塑性のある粘土を材料にすることで、発想の柔軟性につながり、主体的に作品制作ができる生徒が増えるのではないかと考えた。

本題材「～石をつくろう～」では、身近な自然物「石」を観察して、粘土でつくった立体を着彩し、本物のようにあらかず題材である。「石」を実際に触って重さや質感を確かめたり、注意深く色を観察したりする活動を通して、自然物の造形の美しさや生命感を感じ取らせたい。自然物のどんなところに美しさを感じ、その美しさはどのようにすれば表現できるのか考えさせたい。実物の形や色をあらわすために試行錯誤することを通して、表現方法を探求する態度を育成したい。ごつごつしている、つるつるしている、不思議な形など、自分にとって何かしら心から惹かれる「石」の魅力や美しさを、崩してはつくることを繰り返しながら再現していく喜びや楽しさを経験させたい。そして、生徒が自信をもって制作活動に参加できるようにしたい。「石」や「石があった場所」にも愛着をもち、意欲を高めて制作に取り組み、作品にも愛着をもって制作できるように、意識を高めていきたい。

そこで、生徒にとってお気に入りの「石」を制作できるように、「石」の採取は夏休みの課題の一つとした。また、作品の完成後には、タブレット端末で作品を写真に撮りトリミングや回転などの簡単な編集や画像データの提出など、基本的な使用方法について身に付けさせていきたいと考えている。画像データの提出についてはMetaMoJiに画像を貼り、作品の説明を書くことでまとめ、相互鑑賞する機会を取り入れることで、作者の表現の意図と工夫を考える手段にしたい。

2 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、石の美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕
- ・材料や道具の特性を生かし工夫して表現することができる。〔A表現〕(2)

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・石の形や色、質感を表現するための方法を考え、どのように表現していくか構想できる。
(「A表現」(1))
- ・石の形や色、質感を感じ取り、自分や友達の表現について考え、見方や感じ方を広げる。
(「B鑑賞」(1))

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・よりよい形や色を求めて工夫を続けていくおもしろさや喜びを味わい、やりがいを感じながら、石の形や色などをよく見て表現をしたり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、石の美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や道具の特性を生かし工夫して表現している。</p>	<p>発 石の形や色、質感を表現するための方法を考え、どのように表現していくか構想できている。</p> <p>鑑 石の形や色、質感を感じ取り、自分や友達の表現について考え、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態表 よりよい形や色を求めて工夫を続けていくおもしろさや喜びを味わい、やりがいを感じながら、石の形や色などをよく見てあらかず表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 よりよい形や色を求めて工夫を続けていくおもしろさや喜びを味わい、やりがいを感じながら、石の形や色などをよく見てあらかずした作品の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 授業の展開 (全11時間)

時間	学習のねらい	生徒の活動	評価方法・留意点等
1	・石をよく観察する。	・石の形や色、表面の感じなどを捉えてスケッチをしたり、石について想像したりしてワークシートにまとめるなどして石の特徴を理解する。	<p>◎知 形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、石の美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解しているか見取り、できていない生徒に対して具体的に示しながら指導を行う。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>○鑑 石の形や色、質感を感じ取り、自分や友達の表現について考え、見方や感じ方を深められたかどうかを評価する。</p> <p>【活動の様子】</p>
8	・石粉粘土で成形し、着彩する。	<ul style="list-style-type: none"> ・へらなどの用具を用いて形をつくる。 ・石と作品を横に並べて、さまざまな角度から観察したり、指先で触れたりしながら形を整える。 ・水分量を多くして絵の具を混色し、濁色を塗っては乾かすこと 	<p>○発 石の形や色、質感を表現するための方法を考え、どのように表現していくか構想しているかどうかを見取り、「指で見る」ように伝え、指先で幅を測ったり質感を確認したりするなどして形の特徴を捉えるように指導を行う。</p> <p>【活動の様子、作品】</p>

		を繰り返す。 ・さまざまな道具を使い、石の質感をあらわす。	○ 技 材料や道具の特性を生かし工夫して表現しているかどうかを見取り、できていない生徒には見本を見せるなどして指導を行う。 【活動の様子、作品】
1	・自然の中で作品を撮影する。	・タブレット端末を使用して、学校の敷地内の自然のある場所に作品を置いて撮影し、自然の一部としての石を意識する。	○ 技 タブレット端末を適切に使うことができているかを見取り、できていない生徒には使い方と校舎外での活動における注意事項を丁寧に確認させる。 【活動の様子、作品】 ◎ 発 自分の作品を効果的に見せる構図を工夫してタブレット端末で撮影できているかどうかを見取り、できていない生徒にはアングルや構図について例示作品で確認させ、どのような感じで撮影したいのか考えさせる。 【活動の様子、作品】
1	・相互鑑賞をする。	・クラス全員の作品を鑑賞し、自分や友達のよいところ、工夫しているところを見付ける。	◎ 態鑑 よりよい形や色を求めて工夫を続けていくおもしろさや喜びを味わい、やりがいを感じながら、自分や友達の作品のよいところ、工夫しているところを見付けているかどうかを評価する。 【ワークシート】

○題材の評価基準に照らして、適宜、生徒の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価基準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

5 本時の指導（10／11時間）

(1) 目標

道具（制作に関するものやタブレット端末）を適切に使用し、自分の作品を効果的に見せる構図を工夫してタブレット端末で撮影することができている。

(2) 展開

時間	学習活動	評価方法・留意点等
10分	1 本時の活動のめあてを確認する。	・タブレット端末の使い方と注意事項を確認させる。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> アングルや構図を工夫して、作品をタブレット端末で撮影できる。 </div>		

20分	<p>2 学校の敷地内の自然のある場所に作品を置いてタブレット端末で撮影する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>タブレット端末のカメラ機能を使用し、作品を撮影する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内なら場所を変えてもよいことを指示する。 <p>技 安全に気をつけ、タブレット端末を適切に使いながら、作品を置きたい場所を見付けることができている。</p> <p style="text-align: right;">【活動の様子、作品】</p> <p>発 自分の作品を効果的に見せる構図を工夫しながら、タブレット端末で撮影できている。</p> <p style="text-align: right;">【活動の様子、作品】</p>
15分	<p>3 写真を選択し、提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影した写真の中から、お気に入りを1枚選び、MetaMoJi に画像を貼り、作品の説明を書くことでまとめさせる。
5分	<p>4 本時の活動を振り返り、次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の確認をさせる。

(3) 評価及び指導の例

<p>「十分満足できる」と判断される状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付け、タブレット端末を適切に使いながら、作品を置きたい場所を見つけることができている。 ・自分の作品を効果的に見せる構図を工夫しながら、タブレット端末で撮影できている。
<p>「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の使い方と校舎外での活動についての注意事項を丁寧に確認させる。 ・自分の作品を効果的に撮影できるように、例示作品を示しながらアングルや構図について考えさせる。